



[第24回散策の会](中野寺町と哲学堂巡り)

お彼岸も近く日頃の不信心を拭うべく、せめて他人様のお墓めぐりをと思い立ちました。そこで遠方ではなく、西武線や中央線沿線というなんとなく親近感が湧く地域を選んでみました。

「東中野ギンザ通り」の商店街を抜け5分も歩けば寺町につきます。ここ中野区上高田あたりは、立派な塀をめぐるせ冬枯れの木々がのぞく寺院が連なり、今回巡らなかつた寺院を含めると15もの堂宇が立ち並ぶさまは、都会では珍しい景観といえます。これらの寺院は明治41・42年頃に四谷や浅草から現在の地に移転してきたものがほとんどです。

中野寺町は、なだらかな坂の多い町でした

●源通寺

歌舞伎脚本作家の河竹黙阿弥の墓があります。共に早大教授で文化功労者だった河竹繁俊・登志夫父子は黙阿弥の孫・ひ孫に当たります。



源通寺山門



早大教授河竹繁俊・登志夫先生墓



江戸時代河竹黙阿弥墓

●高德寺

江戸中期の朱子学者の新井白石、認知症になった妻を愛情細やかに介護した話題となった俳優の長門裕之と南田洋子夫妻、美容家の山野愛子などの墓がありました。本堂の横には「新井白石記念ホール」という名の齋場があり、山号も「荒居山」と、アライが売りのようです。



高德寺



高德寺扁額



新井白石墓所にて



これが新井白石の墓だろうか？

●萬昌院功運寺

萬昌院と功運寺という別々の寺が昭和23年に合併した寺院です。萬昌院が吉良家の菩提寺であったため、ここに吉良上野介の墓や、赤穂浪士討ち入りの際、迎え撃った吉良家の家臣の墓誌があります。また栗崎道有という蘭学外科医の墓もありました。彼は松の廊下で吉良が受けた刀傷の治療を行い、討ち入りの際に刎ねられた吉良の首と胴を縫合したといわれています。



本殿



鐘楼・地藏尊群



美しい庭



菩提所一覧



林美美子墓



歌川豊国墓



江戸蘭学外科医栗崎道有の墓



右端石塔 吉良上野介の墓



元禄15年12月15日従四位上左近衛少将吉良前上野介源義央朝臣



小林平八郎ほか 吉良邸討死忠臣墓誌

●新井薬師

これまで巡った区画から15分ほど歩くと新井薬師があります。正式な名称は「新井山梅照院薬王寺」ですが、「目の薬師」「子育て薬師」として有名です。

境内には寺名のとおりしだれ梅が参拝客を迎えています。

本尊は弘法大師作といわれる高さ1寸8分の「二仏一体」、つまり表が薬師如来、裏が如意輪観音という極めて珍しいもので、寅年のみ開帳の秘仏となっています。



新井薬師



山門



子育て薬師



子育て地藏尊



本殿前で佐藤さんの説明



枝垂れ梅の下で集合写真